

名古屋大学大学院生命農学研究科
附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）
「農場講演会」のお知らせ

名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド（附属農場）では、地域貢献事業の一環として、以下の講演会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第2回 10月26日（土） 午後2時00分～3時30分

「なぜ小豆餡は紫色なのか ―さまざまな豆類の種皮に含まれる成分とその機能―」

講師 吉田 久美 先生（愛知淑徳大学食健康科学部）

※第2回農場講演会の会場は、名古屋大学東郷フィールド（附属農場）「農業館」です。

豆類は、根粒菌による窒素固定により痩せた土壌でも栽培ができ、人類が古くから食用栽培してきた植物です。現在でも穀類に次いで重要な作物として、世界中で栽培され、食されています。食用豆類には実に様々な種類がありますが、日本で主に食されている豆類には大豆、小豆、インゲン豆、落花生があり、その種類によって、タンパク質やミネラル、食物繊維が豊富です。ところで、豆類の中には、黒豆、小豆、金時豆など、色のついた種皮の豆類がいろいろあります。その色はどのような成分によるのでしょうか。また、色素以外に種皮にはどのような成分が含まれているのでしょうか。私たちの研究を元に、豆種皮の成分についてお話します。

場所：名古屋大学東郷フィールド 農業館

〒470-0198 愛知郡東郷町大字諸輪字畑尻 94 名古屋大学東郷フィールド（駐車場あり）

<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~u-farm/>

参加費：無料（申し込み不要）

主催：名古屋大学大学院生命農学研究科

問い合わせ先：東郷フィールド事務室

電話：0561-37-0200

メール：field-c@t.thers.ac.jp

今年度の講演会

第1回 8月6日（火） 午後2時00分～3時30分

「植物に花を咲かせるフロリゲン」

講師 辻 寛之 先生（名古屋大学生命機能開発利用研究センター）